

モニタリング結果報告書

施設名 : あいかわ公園

指定管理者 : 財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団

施設所管課(事務所名) : 厚木土木事務所

(平成21年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	11月26日	月例報告、現地確認等
11月	12月10日	12月28日	月例報告、現地確認等
12月	1月12日	1月28日	月例報告、現地確認等
1月	2月10日	2月26日	月例報告、現地確認等
2月	3月10日	3月26日	月例報告、現地確認等
3月	3月26日	4月28日	月例報告、現地確認等

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

※利用促進方策

- ・公園のPR・公園情報の効果的な提供
- ・利用者の満足度を向上させる仕組みづくり
- ・利用者の再訪(リピーター)を促す魅力づくり
- ・実行委員会方式などによるイベントの開催

<実施状況>

様々なイベントを通して、公園の情報をPRするとともに、ホームページには随時イベント情報を更新し、最新の情報を提供できるよう心がけました。

更に、公園パンフレットを改訂・増刷し配布するなど、公園の情報発信に努めました。

イベントとしては、花の日(月1回)、ちぎり絵体験(月1回)、竹細工教室(月1回)はもとより、クリスマスリース作り教室などを開催。

また、公園内の鳥を観察する自然観察会を新たに開催し、自然多き公園としての魅力を発信することで、来園者の促進に努めました。

その他、ふれあい広場の芝生化や電動車イスの導入など、利用者の要望に応え、より一層、サービスの向上を図りました。

現在もアンケート調査などにより、利用者のニーズを的確に把握し、より良い公園運営に努めるよう鋭意努力をしています。

3 収支状況

(単位：千円)

	収入額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)		
年間予算額	137,436	110,576	26,860	137,436	0
上半期計 (a)	74,107	51,646	22,461 (13,209)	54,700	19,407
下半期計 (b)	67,924	58,930	8,994 (8,550)	87,333	△ 19,409
10月	11,492	8,602	2,890 (2,954)	10,688	804
11月	12,979	9,167	3,812 (2,302)	11,277	1,702
12月	10,909	10,524	385 (366)	13,720	△ 2,811
1月	10,908	10,393	515 (239)	12,567	△ 1,659
2月	10,856	10,388	468 (218)	15,751	△ 4,895
3月	10,780	9,856	924 (2,471)	23,330	△ 12,550
合計 (a+b)	142,031	110,576	31,455 (21,759)	142,033	△ 2

1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
 ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
 ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

利用者の比較的少ない閑散期(下半期)を利用し、猪・ヤマビル対策として、ふれあい広場のチップを芝生化すると共に、更なる利用者増加対策として花壇整備や風の丘展望台周辺整備(ツツジ植栽)を実施するなどした。
 また、年間を通した設備保守点検や遊具の保守点検の支払いが、年度末に集中してしまったため、下半期の収支差額の減が発生した。
 今後は、年間を通したバランス良い予算執行に努める。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	特になし	
支出の状況		

収入の状況: 定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況: 車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況: 積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	289,687人	229,990人	26.0%
下半期計 (b)	155,512人	173,202人	△10.2%
10月	34,629人	42,202人	△17.9%
11月	36,319人	42,330人	△14.2%
12月	15,389人	19,255人	△20.1%
1月	26,311人	14,054人	87.2%
2月	14,160人	22,601人	△37.3%
3月	28,704人	32,760人	△12.4%
合計 (a+b)	445,199人	403,192人	10.4%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

平成21年度の下半期は降雪が多く道路凍結などの影響があったと共に、有料道路代の減額政策により遠方の観光地に人が流れてしまい、公園の利用者が減少したと思われる。

引き続き、迅速な除雪対応をすると共に、魅力あるイベントを随時実施するなど、更なる利用者増加に努めていく。

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	0	0	0	0	1	1
11月	0	0	0	0	2	2
12月	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月	0	0	0
11月	0	0	0
12月	0	0	0
1月	0	0	0
2月	0	0	0
3月	0	0	0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

特筆すべき苦情・要望はありません。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
その他	・	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

特にありません。

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

特にありません。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	下半期においては、特筆すべき苦情や事故等もなく、良好に公園の維持管理ができました。 工芸工房村及び愛川町郷土資料館の運営も順調に推移すると共に、自然観察会を開催するなど、新たな来園者の獲得に努めました。 今後、公園施設においても更に、ふれあい広場の芝生化やツツジの増殖などを進めるなど、利用者の要望や意見を踏まえた安心安全な公園運営に努めていきたいと考えています。
施設所管課	日常の安全管理及び巡視が行き届いており、来園者にも好印象を与えている。 今後ともより一層の、来園者を呼ぶべく努力をしていってほしい。